

各教科等授業改善プロジェクト授業改善推進校の取組について

今年度、利根管内では「理科」の指定を受け、沼田小と沼田南中に授業実践をしていただきました。「学校教育の指針の『授業改善のポイント』」や「本事業の目標」を基に、1年間かけて計画的・継続的に取り組み、大きな成果を上げていただきました。

<授業改善プロジェクト【理科】のポイント>

- ①日常生活や社会との関連を意識した単元構想
- ②科学的な根拠に基づいて多面的に考え、より妥当な考えをつくりだす場面の設定
- ③理科の目標に迫るICTの効果的・効率的な活用

沼田小 5年・単元名「流れる水の働きと土地の変化」

- ①児童が普段から目にしている川に着目できるようにし、単元の課題を「沼田市を流れる利根川が今のような様子になったのはどうしてだろうか。」と設定しました。
- ②公開した授業は、「流れる水の働きが大きくなるのは、どのようなときだろうか。」という問題について、水の量や流れの速さを条件として実験をし、侵食・運搬・堆積の様子から水の働きの大さきについて班や全体で考察させました。
- ③実際の授業では、児童は、前時の実験を撮影した画像を繰り返し見て、友達と議論しながらより妥当な考えをつくりだしていました。



沼田南中 3年・単元名「力学的エネルギー」

- ①簡易なエネルギー変換が分かる器具を作り、単元の課題を「身の回りの現象とエネルギーにはどのような関係があるか。」と設定しました。
- ②公開した授業は、「エネルギーを別のエネルギーに変換するとき、変換できるエネルギーの割合はどのくらいか。」という課題について、位置エネルギーが電気エネルギーに変換されるときの変換効率を調べる実験を行い、結果を一覧表示して割合が低い理由を考察させました。
- ③実際の授業では、表計算ソフトを活用して瞬時に変換効率を表示し、予想以上に変換効率が低いことに新たな疑問を抱かせました。生徒は、再実験や友達との議論によって、音や熱エネルギーにも変換されていることを見いだしていきました。



◆理科を担当している教員の多くは、「児童生徒が、観察・実験を科学的に考察できていない」という課題を感じています。そこで、ICTを効果的に活用することによって、小学校では実験を何度も見直すことで事実を基にし、中学校では、効率的にデータ処理することでどの班も同じ結果であることを明確にして、実証性・再現性・客観性のある科学的な考察を例示することができました。各教科等の本質に関わる児童生徒の課題に対して、ICTの効果的・効率的な活用を今後も模索していくことが大切です。

がん教育総合支援事業の取組について

薄根小・薄根中の取組

薄根小では、道徳科や体育等の授業実践と、講演会や保健ミニ講話、児童の委員会活動などが行われました。公開した道徳科の授業では、主題名を「せいっぱい生きる」とし、「命のアサガオ」という資料を教材として、白血病を発症し7歳で亡くなった男の子とその母の心情を考えさせました。「がん教育プログラム」の授業やがん経験者の話も活用し、かけがえのない命について児童は深く考えることができました。

薄根中では、栄養教諭の話やがん予防の講演会と、保健体育や学級活動の授業とを関連させた取組が行われました。公開した学級活動の授業では、題材名「がんから自他の命を守るために自分にできることを考えよう」〈内容(2)〉とし、生活習慣を振り返る「キラリチェック」を活用し、がんにならないために自分ができること、自分が伝えられることをアドバイスするロールプレイングを取り入れ、がん予防の取組を意思決定することができました。

◆管理職のリーダーシップの下、保健主事や体育主任、養護教諭、生徒指導担当等、校内での連携を強化して共通理解を図るとともに、外部機関との連携も図り教科横断的な視点から年間指導計画等を見直すことができました。児童生徒の実態に基づいて組織的・計画的に健康教育を推進することにより、学校全体で取り組むよさが感じられました。

ぐんまの子どもの体力向上(武道)推進事業の取組について

昭和中の取組

「運動を楽しみ、主体的に取り組む生徒の育成 ～多様な武道指導の充実を通して～」のテーマの下、全学年で柔道と剣道、空手道の授業を行い、生徒は武道のよさや楽しさを味わい、伝統的な考え方や武道の精神を学びました。公開した剣道の授業では、剣道の特性や成り立ち、伝統的な考え方を理解させるために、木刀を使った「形」のポイントを示した「課題チェックシート」を活用し、話し合いやアドバイスを通して、課題を見付けたり、動きの改善を図ったりしました。

また、世界で活躍する講師を招いた「アスリート講話」では、講師から礼儀、目標設定、周囲への感謝、反省する心構えが大事であるという話をうかがいました。生徒たちは講話を真剣に聞き、自分自身を振り返ることができました。



◆多様な武道を経験することで、武道のよさに触れ、武道に共通する伝統的な考え方や相手を尊重する大切さについて学ぶことができました。学校課題に基づいた「体力向上プラン」を活用し、体育・保健体育の授業を中心に、他教科等の関連を図ったり、家庭や地域と連携したりする取組のよさを再認識することができました。